

◆技術委員会 活動状況

[正副会長会・総務委員会]

開催年月日	議 事 事 項
5. 4. 7	1. 4月定例理事会の提案議題について
5. 5. 8	1. 第56回定時総会の議事進行の運営等について 2. 5月定例理事会（総会当日開催）の提案議題等について
5. 6. 2	1. 6月定例理事会の提案議題について
5. 7. 6	1. 7月定例理事会の提案議題について
5. 9. 1	1. 9月定例理事会の提案議題について
5.10. 6	1. 10月定例理事会の提案議題について
5.11. 2	1. 11月定例理事会の提案議題について
5.12. 1	1. 12月定例理事会の提案議題について
6. 2. 2	1. 2月定例理事会の提案議題について
6. 3. 1	1. 3月定例理事会の提案議題について

[技術委員会]

開催年月日	議 事 事 項
5. 11. 14	[令和5年度第1回技術委員会] 1. 令和5年度技術見学会について

[技術委員会（機械設備工事施工マニュアル改訂会議）]

開催年月日	議 事 事 項
5. 4. 11	[機械設備工事施工マニュアル改訂 第 6 回代表者会議] 1. 本文データ（ワード）の最終確認 2. 新旧対照表の最終確認 3. 今後のスケジュールの確認（第 2 回全体会議等）
5. 5. 25	[機械設備工事施工マニュアル改訂 第 2 回全体会議] 1. 改訂作業の振り返り 2. 説明会について 3. 今後のスケジュール
5. 6. 14	[機械設備工事施工マニュアル改訂 第 7 回代表者会議] 1. （一社）公共建築協会関係の作図の追加について 2. 「改訂 機械設備工事施工マニュアル説明会」の運営について

[技術委員会（機械設備工事施工マニュアル改訂各分科会）]

【第3分科会】

開催年月日	議 事 事 項
5. 6. 19	[機械設備工事施工マニュアル改訂 第 8 回分科会] 1. 代表者会議の報告 2. 説明会に向けて

[技術委員会]

[マニュアル説明会]

令和 5 年

7 月 11 日 改訂 機械設備工事施工マニュアル説明会開催

場 所 横浜市情報文化センター 6 階「情文ホール」およびオンライン

出席者 169 名（会場 101 名、オンライン 68 名）

[見学会]

令和 5 年

12 月 5 日 令和 5 年度 技術研修見学会開催

場 所 県営箱根水道主要施設及び箱根温泉供給株温泉蒸気井

参加者 19 名

～機械設備工事施工マニュアルの入手方法が変わりました～

冊子の購入に替えて

横浜市ホームページから無料のダウンロードに

<https://www.city.yokohama.lg.jp/business/nyusatsu/youshiki/kenchiku/kikaisekoumanyuaru.html>



改訂マニュアルの特徴

- ◆ 地元施工業者の技術力や公共建築物に関わる工事の品質向上を目的に作成
- ◆ 工業会と横浜市では、建設現場のDX化を踏まえ、これまで冊子を有料で販売していたマニュアルをデジタル化し無料に
- ◆ 横浜市のホームページから自由にダウンロード（令和5年7月末～）
- ◆ 工業会技術委員と横浜市職員、（公財）横浜市建築保全公社職員が共同編集
- ◆ これまでと同様に横浜市の機械設備工事仕様書として位置づけ

改訂マニュアル説明会を開催

- ◆ 日時
令和5年7月11日（火） 14時～15時30分
- ◆ 会場
横浜市情報文化センター6階情文ホール & オンライン同時配信
- ◆ 講師
工業会技術委員、横浜市職員、
横浜市建築保全公社職員
- ◆ 参加者
169名（会場101名、オンライン68名）



肥田 雄三
横浜市建築局公共建築部長



横山 順二
神空衛技術委員長

令和5年度 技術研修見学会 ～神奈川県箱根水道営業所管内水道施設&箱根温泉供給(株)温泉蒸気井～ 技術委員会

技術委員会主催の「令和5年度技術研修見学会」が令和5年12月5日(火)に、神奈川県箱根水道営業所管内水道施設を中心に実施され、会員18名(15社)、事務局1名の計19名が参加しました。

県営箱根水道は、水道の給水や料金徴収、施設の維持管理から災害時対応までを箱根水道パートナーズ(株)に包括委託する全国的にも珍しい運営形態を採用しています。

また、水源がすべて湧水であることから、浄水施設も一般的な急速濾過ではなく紫外線や中空糸膜濾過処理を採用し、給水区域の標高差が約650mあることも特徴です。

今回の見学会では、箱根水道センターにおいて、箱根水道パートナーズ(株)(松原一成所長)職員より箱根地区水道事業について説明いただいた後、神奈川県企業庁平塚水道営業所(山田修所長)の職員の案内により、日量12,800m³の湧水が出る水土野水源やこうした湧水からクリプトスポジウム等耐塩索性病原生物

を不活性化させる浄水施設として、下湯配水池(紫外線処理)やイタリー浄水場(中空糸膜濾過処理)の見学、さらに火山地帯ならではの課題として地熱により配水池周辺が荒廃する上湯配水池についても案内をいただきました。

最後に、大涌谷にある箱根ジオミュージアムにおいて、大涌谷にある蒸気井で火山性蒸気と仙石原からポンプアップした水を混合することで温泉を製造し、仙石原や強羅地区に供給をしている箱根温泉供給(株)(石村隆生代表取締役)の井手幸彦常務取締役より、その仕組みや現状、課題等について解説いただき、箱根温泉の意外な一面を実感することができました。

快く見学者の受入れをいただいた神奈川県企業庁平塚水道営業所を始めとする関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

